

令和4年10月17日

とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会
構成団体会員、参加希望者各位

とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会
代表 大友 崇 義

2022年度協議会学会・公開セミナー開催案内について

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記のことについて、別添開催要綱のとおり「学会・公開セミナー」を開催することになりました。つきましては、ふるってご参加くださいますようご案内申し上げます。なお、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、「新型コロナウイルス感染症に対応した学会・公開セミナー開催ガイドライン」を作成するなど万全を期して参ります。

さて 学会・公開セミナーの受講方法は①会場参加及び②ズームによるリモート参加としました。①会場参加料は、従来通り会員1,000円、会員以外2,000円となります。②リモート参加料は、一律3,000円で、資料の必要な方は送料が370円となります。別添参加申込書により申し込みください。準備ができ次第、入金を確認し「ミーティングID・パスコード」のメールを送付、「資料」の郵送を行います。なお、本セミナーにおいては、ズームミーティングを使用しますので、事前にズームアプリをダウンロードするなど準備をしてください。

また、会場参加を希望し、リモート参加への変更も考えられる方は、あらかじめメールアドレス及び資料の有無をご記入ください。入金を確認し「ミーティングID・パスコード」のメール送付等を行います。

なお、参加申込み締切日は、12月7日（水）ですのでお早めに申し込みください。

とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会
＜構成団体とは、県医療社会事業協会・県ホームヘルパー協議会・県社会福祉士会・県介護福祉士会・県ソーシャルワーカー協会・県精神保健福祉士会をいいます。＞
〒320-8508 宇都宮市若草 1-10-6 とちぎ福祉プラザ内
TEL 028-600-1725 FAX 028-600-1730

2022年度とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会
学会・公開セミナー開催要綱

○ 趣 旨

今、我が国の社会福祉政策の課題は、「地域共生社会」の構築である。このため、保健・医療・福祉・介護専門職の創造的な実践が何よりも問われている。2021年度に、これまでの協議会活動の20年を振り返り、今後、地域共生社会の実現を目指すことを組織的に明らかにした。このため「20年史」を発行し、県、各市町、各社会福祉施設等に、社会福祉専門職の活用等について周知した。

2022年度は、地域共生社会を構築するために、現場の課題を明確にする「学会」を開催するとともに、今後、保健・医療・福祉・介護専門職は、何を為すべきかについて広く県民一般に周知する「公開セミナー」を次により開催する。

- 1 日 時 2022年12月17日(土) 13:00~17:00
- 2 会 場 とちぎ福祉プラザ多目的ホール
- 3 参加方法 ①とちぎ福祉プラザでの会場参加、②ズームによるリモート参加
- 4 参加費 会員・学生1,000円、会員外2,000円、リモート参加一律3,000円
- 5 申込先 とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会

〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6 とちぎ福祉プラザ3階

Tel: 028-600-1725 Fax: 028-600-1730

E-mail tacsw@minos.ocn.ne.jp

*申し込み締め切り日 12月7日(水)

5 プログラム

(1) 13:00 開会あいさつ

とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会代表	大友 崇義
栃木県知事	福田 富一氏
栃木県社会福祉協議会会長	関根 房三氏
栃木県社会福祉法人経営者協議会会長	高澤 茂夫氏

(2) 13:15 「学会・公開セミナー」基調講演

「コロナ下の地域共生政策と保健・医療・福祉・介護専門職のあり方(仮題)」

講 師 鈴木 康裕 国際医療福祉大学学長



慶応義塾大学医学部卒。1984年厚生省入省。1998年世界保健機関派遣、2002年栃木県保健福祉部医療監、2004年栃木県保健福祉部長、2005年厚生労働省医政局研究開発振興課長、2009年厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部事務局次長、2010年厚生労働省保険局医療課長、2012年防衛省大臣官房衛生監、2014年厚生労働省大臣官房技術総括審議官、2016年厚生労働省保険局長、2017年厚生労働省医務技監、2022年国際医療福祉大学学長*東京大学公共政策大学院客員教授、慶応義塾大学医学部教授

(3) 15:00 「学会・公開セミナー」パネルディスカッション

「コロナ下の保健・医療・福祉・介護専門職の課題とは何か？」

- | | | |
|------------|-------------------|---------|
| ○ コーディネーター | 国際医療福祉大学大学院教授 | 小嶋 章吾 氏 |
| ○ パネラー | 栃木県ホームヘルパー協議会長 | 絹木 憲司 |
| | 栃木県医療社会事業協会会長 | 荻津 守 |
| | 一般社団法人栃木県社会福祉士会長 | 松永 千恵子 |
| | 一般社団法人栃木県介護福祉士会長 | 岩原 真 |
| | 一般社団法人精神保健福祉士協会会長 | 稲見 聡 |
| ○ コメントーター | 栃木県保健福祉部長 | 仲山 信之 氏 |
| | 栃木県社会福祉協議会常務理事 | 篠崎 和男 氏 |
| | 栃木県社会福祉法人経営者協議会長 | 高澤 茂夫 氏 |
| ○ 指定発言 | 栃木市保健福祉部長 | 首長 正博 氏 |
| | 栃木障がいフォーラム世話人代表 | 村上 八郎 氏 |

(4) 17:00 閉会

6 後援 栃木県/栃木県社会福祉協議会/栃木県共同募金会/栃木県市長会/栃木県町村会/栃木県医師会/栃木県看護協会/栃木県老人福祉施設協議会/栃木県老人保健施設協会/栃木県社会福祉法人経営者協議会/栃木県障害施設・事業協会/栃木県精神衛生協会/とちぎケアマネジャー協会/下野新聞社/朝日新聞宇都宮総局/読売新聞宇都宮支局/産経新聞社宇都宮支局/毎日新聞宇都宮支局/栃木放送/エフエムとちぎ/とちぎテレビ(後援依頼中)

7 その他 「新型コロナ感染症に対応した学会・公開セミナー開催ガイドライン」に基づき、感染症対策には万全を期します。

新型コロナウイルス感染症に対応した学会・公開セミナー開催ガイドライン

とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会

令和4年9月12日

今回の学会・公開セミナーの開催にあたり、参加者及び主催者の感染予防のため、以下の内容で新型コロナウイルス感染症の対策を講じます。皆様のご協力をお願いいたします。

I 事前案内

- 1 以下の基準に当てはまる場合は公開セミナー参加をご遠慮ください。

熱・咳・下痢等の症状や体調不良がある者、同居家族や身近な知人の感染が疑われる者

- 2 参加者の連絡先（氏名、所属、電話番号等）を把握し、必要に応じて情報を保健所等の公的機関へ提供することがあることをご承知おきください。
- 3 感染防止のために主催者が講じる対策を遵守し、また、主催者の指示に従うようお願いいたします。
- 4 新型コロナウイルス感染症をめぐる状況の変化等により、学会・公開セミナーの会場開催が中止となった場合は、速やかにご連絡いたします。

II 会場の準備

- 1 会場内の机やイス、その他の設備や備品について、研修実施前に消毒を行います。
- 2 ソーシャルディスタンスを考慮した会場設定を行います。

III 受付時

- 1 受付は12時30分から行います。1階ロビー等で密にならない状態でお待ちください。
- 2 受付担当者はアクリル板の利用またはフェイスシールドを着用します。
- 3 参加者はマスク着用、咳エチケットをお願いします。（研修中も同様をお願いします。）
- 4 アルコール消毒液を受付に設置します。入退場時など手指の消毒にお使いください。
- 5 受付時は係員の誘導に従い、人と人との間隔をできるだけ確保してください。
- 6 受付時検温を行い、名簿に発熱の有無を記入しますのでご協力をお願いします。
- 7 現金・資料の受け渡しは、手渡しとしないように行います。
- 8 着席は、定められた区画に間隔を空けてお座りください。

IV 会場

- 1 会場内の、入退場口等3つの扉を常に開放し、会場内の換気に努めます。
- 2 講師、来賓あいさつ者など（以下「講師等」という。）と参加者の間の距離は2メートル以上確保します。あいさつ者演台にはアクリル板を設置します。
- 3 パネルディスカッション参加者の机にはアクリル板を設置します。また、フェイスシールドを準備します。
- 4 マイクなど備品を使用する場合は、その都度消毒を行います。
- 5 セミナー前後や休憩時間などの交流等を極力控えるようお願いします。